



2024年11月6日

各位

会社名 コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社  
代表者 代表取締役社長 カリン・ドラガン  
(コード番号 2579 東証プライム市場)  
問合せ先 財務本部 コントローラーズ シニアグループ統括部長 石川 達仁  
(Tel. 0800-919-0509)

## 業績予想の修正、配当政策の変更および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等をふまえ、2024年11月6日開催の取締役会において、2024年2月14日に公表した2024年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、中期経営計画「Vision 2028」に基づく包括的な株主還元策の一環として、配当政策を見直すとともに、2024年2月14日に公表した2024年12月期の配当予想を上方修正（増配）する旨を決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 882,400	百万円 10,000	百万円 11,900	百万円 11,100	百万円 6,900	百万円 6,900	円 銭 38.45
今回発表予想 (B)	888,000	11,500	13,600	13,000	7,500	7,400	41.28
増減額 (B-A)	5,600	1,500	1,700	1,900	600	500	
増減率 (%)	0.6%	15.0%	14.3%	17.1%	8.7%	7.2%	
(ご参考) 前期連結実績 (2023年12月期)	868,581	2,025	3,441	3,224	1,903	1,871	10.43

(注)当社は、2024年11月6日付「自己株式取得および自己株式消却に関するお知らせ」にて開示したとおり、自己株式の取得および消却について決議いたしました。今回発表予想の基本的1株当たり当期利益については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。



(通期業績予想の修正の理由)

第3四半期累計期間(2024年1月1日～9月30日)におきまして、継続する人出の増加や猛暑等を背景に需要が増加するなか、新製品の展開や効果的な営業施策が奏功し、販売数量が当初想定以上の伸長となりました。加えて、最需要期における製造効率向上などの貢献もあり、当初想定以上の増収増益となりました。また、第4四半期会計期間(2024年10月1日～12月31日)におきまして、10月1日から実施の価格改定による収益性改善の効果を新たに計画に織り込んでおります。これらの状況を勘案し、2024年2月14日に公表の通期業績予想を上方修正いたしました。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって業績予想とは異なる可能性があります。

2. 配当政策の変更

変更前	変更後
<p>配当につきましては、<u>積極的な利益還元を行うことを利益配分に関する基本方針としながら安定的に配当を行うことを最優先とし、親会社の所有者に帰属する当期利益の30%以上を目安として業績や内部留保を総合的に勘案のうえ、中間配当および期末配当を実施してまいります。</u></p>	<p>配当につきましては、<u>積極的かつ安定的に利益還元することを基本方針とし、業績や成長投資、内部留保を総合的に勘案のうえ、中間配当および期末配当を実施してまいります。中期経営計画「Vision 2028」においては、連結配当性向40%以上および2028年の連結株主資本配当率(DOE)2.5%以上を目指し、当該期間において累進配当を導入することで、1株当たり年間配当額を毎年、前年比で維持または増額する方針です。</u></p>

3. 配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想		25.00	50.00
今回修正予想		28.00	53.00
当期実績	25.00		
前期実績 (2023年12月期)	25.00	25.00	50.00

(配当政策の変更および配当予想の修正の理由)

当社は、過去数年間、厳しい事業環境を背景に親会社の所有者に帰属する当期利益の赤字が続いたなかにおいても、株主のみなさまへの還元を最大限に実施すべく、安定配当を最優先に配当を実施してまいりました。そのような期間を経て、当社は、2023年8月に中期経営計画「Vision 2028」を発表し、現在、2028年の事業利益率5%以上およびROIC(投下資本利益率)5%以上を目指し、持続的な事業成長に向けた取り組みを進めております。業績は順調に進捗しており、このたびの2024年12月期通期



業績予想の上方修正を機に、「Vision 2028」における包括的な株主還元策の一環として、配当政策の見直しを実施いたします。具体的には、株主価値向上に向け、従来の連結配当性向の目標値 30%以上を 40%以上に引き上げるとともに、新たな指標として連結株主資本配当率(DOE)を設定し、2028 年の DOE 2.5%以上を目標に、「Vision 2028」の期間において、1株当たり年間配当額を毎年、前年比で維持または増額する累進配当を実施してまいります。

また、このたびの配当政策の見直しをふまえ、2024 年においては、期末配当金（予定）を前回予想に比べ1株当たり3円増額することといたしました。

以 上